

横山(さくら)最終Hで逆転

女子一般

クイーンズ平野(京)唯一の70台



第54回知事盃争奪ゴルフ競技大会は2日、宇都宮市のJGM宇都宮Gで一般女子の部(60歳以上、パー72)とミッドクイーンズの部(55歳以上、パー72)の決勝が行われ、一般女子の部は文星女高1年の横山珠々奈(さくら)が初優勝、ミッドクイーンズの部は平野いずみ(東京)が連覇を達成した。



鯉沼良美

佐藤有仁加

秋山ミイ

小宮陽子

最終ホールでの大逆転。初の女王となった横山珠々奈(さくら)は3パット3回の不満のラウンドでも「流れが悪いと投げる傾向が

ヒロイン

横山 諦めずしのぎ切る

あったが、最後まで諦めなかったことが勝利の鍵となった。舞台スタートの1、2番と3パットのボギースタート。だが、弾みをつけて臨んだ6月の日本女子アマは66位に終わった。今年最大の目標。予選通過はしたが雨に負け、まだ「諦めずしのぎ切る」つもりだ。今年4月の県ジュニアで優勝、5月の全日本女子アマチュアゴルフ選手権で2位タイ。だが、弾



一般女子の部で優勝した横山珠々奈(さくら)のパーディーパット。JGM宇都宮G C18番グリーン、柴田大輔撮影

南ア戦へ連係確認 ラグビー日本代表

ラグビーのワールドカップ(W杯)日本大会に臨む日本代表は2日、開幕前最後の集まりとなる6

8月の北海道網走市の合宿で左足首を痛めたF W第3列の姫野(トヨタ自動車)とフッカー堀江(パナソニック)が別メニューで調整した。合宿を通じて防御の連

【一般女子の部決勝大会】

順位	選手名	スコア
1	横山珠々奈(さくら)	76
2	佐藤有仁加(宇都宮)	77
3	小宮陽子(宇都宮)	79
4	秋山ミイ(宇都宮)	80
5	鯉沼良美(宇都宮)	81
6	阿部知子(宇都宮)	82
7	池田真由美(宇都宮)	83
8	松本美穂(宇都宮)	84
9	高橋真由美(宇都宮)	85
10	山崎真由美(宇都宮)	86
11	山崎真由美(宇都宮)	87
12	山崎真由美(宇都宮)	88
13	山崎真由美(宇都宮)	89
14	山崎真由美(宇都宮)	90
15	山崎真由美(宇都宮)	91
16	山崎真由美(宇都宮)	92
17	山崎真由美(宇都宮)	93
18	山崎真由美(宇都宮)	94
19	山崎真由美(宇都宮)	95
20	山崎真由美(宇都宮)	96
21	山崎真由美(宇都宮)	97
22	山崎真由美(宇都宮)	98
23	山崎真由美(宇都宮)	99
24	山崎真由美(宇都宮)	100

【ミッドクイーンズの部決勝大会】

順位	選手名	スコア
1	平野いずみ(東京)	76
2	佐藤有仁加(宇都宮)	77
3	小宮陽子(宇都宮)	79
4	秋山ミイ(宇都宮)	80
5	鯉沼良美(宇都宮)	81
6	阿部知子(宇都宮)	82
7	池田真由美(宇都宮)	83
8	松本美穂(宇都宮)	84
9	高橋真由美(宇都宮)	85
10	山崎真由美(宇都宮)	86
11	山崎真由美(宇都宮)	87
12	山崎真由美(宇都宮)	88
13	山崎真由美(宇都宮)	89
14	山崎真由美(宇都宮)	90
15	山崎真由美(宇都宮)	91
16	山崎真由美(宇都宮)	92
17	山崎真由美(宇都宮)	93
18	山崎真由美(宇都宮)	94
19	山崎真由美(宇都宮)	95
20	山崎真由美(宇都宮)	96
21	山崎真由美(宇都宮)	97
22	山崎真由美(宇都宮)	98
23	山崎真由美(宇都宮)	99
24	山崎真由美(宇都宮)	100



ミッドクイーンズの部で連覇を果たした平野いずみ(東京)の1番ティーショット

アウト3番が分岐点

クイーンズの部優勝2回の美。昨年(那須小川GC)は6オパー78で優勝。今回は1パインは共に2オーバー38でタイ。しかし、アウト3番3パイン(124)で鯉沼がバンカーを刺した。アイアンでピンを刺した。白い歯を浮かべて振り返った。

世界ランク NZ1位に

日本は10位 【ロンドン共同】ラグビーの国際統括団体、ワ

小松、連続出場40回に

の部に出場した小松恭子(宇都宮)が大会連続出場記録を40回に伸ばした。正式な記録はないが、関係者によれば「最高で100回」といわれる。一般男子の部は「この年代、女子に男子に比べて挑戦し続けた。あの時代、女子に優しくなく青マーク(バツクティー)でプレーした。厳しかったと振り返る。一般女子の部が1983年に新設され、23回大会(88年)で優勝。クイーンズも2回制した。かつてオフィシャルハロディ5の「女王」もこの日は「こんなものでしょう」と15オーバー、87で8位。まだまだ出場するよ。栃木のゴルフの歴史を見ていきたい」といって意気軒高だった。

宇都宮フレックスは予備選A組でウクライナとボスニア・ヘルツェゴビナのチームに2連勝。本予選B組ではスロベニアのチームに16、21で敗

【釜山共同】12の国・地域で争う野球の18歳以下によるU18ワールドカップ(W杯)第4日は2日、韓国・釜山郊外の機張で1次リーグが行われ、初の世界一を目指すB組の高校日本代表は第4戦で台湾に1-3の五分で敗れ、初黒星を喫した。日本と台湾はともに3勝1敗。横山(作新)は「8番・右翼」で先発

1次リーグで日本と同じA組ではアイルランドが二つ上げて2位に浮上。スコットランドは7位、サモアは16位、ロシアは20位で変動がなかった。